

…… 教員用 ……

けんけつ H O P STEP JUMP



ひと、くらし、みらいのために
厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

2026年版



献血にご協力を！



献血は、病気の治療や手術などで血液を必要としている人のために、自ら進んで血液を提供する“身近なボランティア”です。

200mL献血は男女ともに**16歳**からできます。

詳しくは3ページへ！▶

献血ってどうして必要なの？

○血液を必要としている患者さんが大勢いる

例えばこんなときに…

・がん ・白血病 ・感染症 ・血友病 ・手術 ・出産

○血液は…

・人工的に造れない ・長期保存ができない

○一人あたりの献血の回数・量には制限がある



多くの方のご協力が必要！



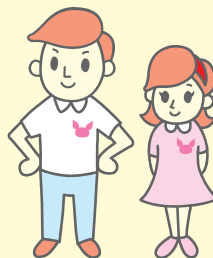
少子化の影響は献血にも…

この20年間で10代から20代の献血者数は約97.3万人(約53%)※も減少しています。

これからも血液を確保し、患者さんの命を助けるためには、

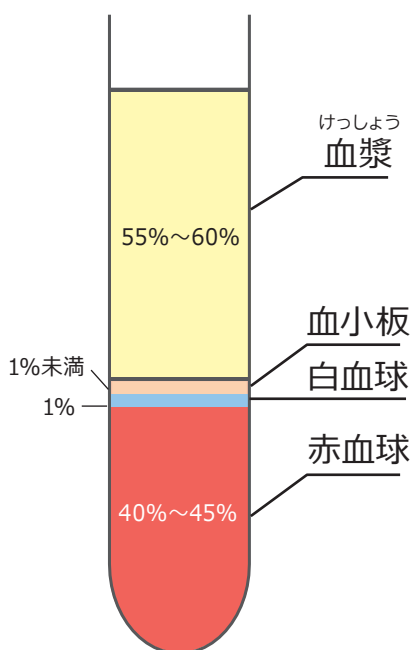
若い世代のみなさんの協力が必要です。

※184.7万人(平成16年度)から87.4万人(令和6年度)に減少



■ 血液の成分

血液は、人間の体に必要な酸素や栄養分を体中に運んでいます。



血漿

- 体内の炭酸ガスを肺へ運び、組織呼吸で空気中に放出
- 栄養分を体の各部に運ぶ
- 老廃物を腎臓から排出

赤血球

- 肺で酸素を取り込んで、体の各部へ運ぶ



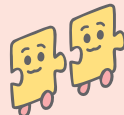
白血球

- 体内に侵入した細菌やウイルスを消化・殺菌



血小板

- 血管が損傷したときに、血管をふさいで出血を止める



■ 血液の量

体の中に流れている血液は、体重のおよそ13分の1です。

■ 血液型

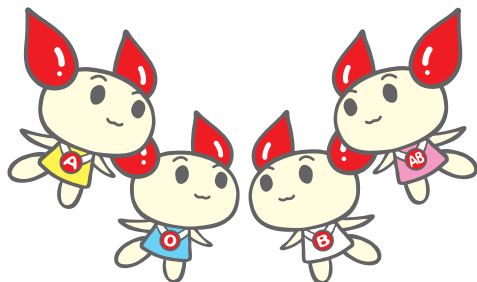
血液には、いろいろな型があります。

【主な血液型】

- 赤血球の型: ABO型、Rh型
- 白血球の型: HLA型

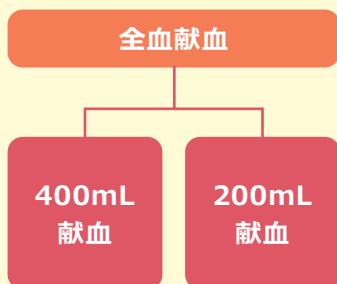
輸血をするときは、誰の血液でも良いというわけではありません。
同じ血液型の血液を輸血しないと、重い副作用が生じてしまいます。
原則的に、ABO型とRh型は同じ型のものを合わせて輸血します。

日本人の血液型は多い順からA型、O型、B型、AB型となっています。

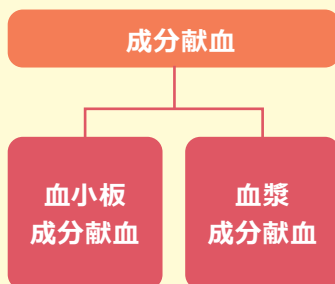


献血の種類

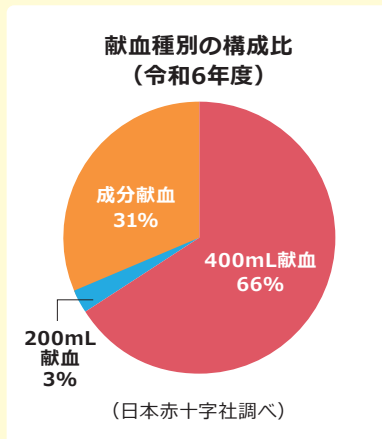
献血には4つの種類があります。



血液中の全ての成分を採血する方法です。



血小板や血漿だけを採血する方法です。体内で回復するのに時間のかかる赤血球は再び体内に戻します。



献血基準

献血基準に当てはまる場合に献血ができます。(問診などの結果では献血できないこともあります。)

これは、献血者の健康を保護するために設定されています。

献血基準の主なもの

		200mL献血	400mL献血	成分献血
年齢	男	16歳から	17歳から	18歳から
	女		18歳から	
体重	男	45kg以上	50kg以上	45kg以上
	女	40kg以上		40kg以上

16歳から献血
できるっち!



【教員の皆様へ】
17ページをご参照ください

■ 血液製剤の種類

献血で集められた血液は、さまざまな薬となって、患者さんのもとに届きます。

いただいた
献血血液

輸血用血液製剤

赤血球製剤



出血および赤血球が不足する状態、またはその機能低下による酸素欠乏のある場合に使われます。

- 保存温度 2～6℃
- 有効期間 採血後28日間

血小板製剤



血小板の減少またはその機能低下による出血ないし出血傾向のある場合に使われます。

- 保存温度 20～24℃
- 有効期間 採血後6日間
- 要振とう

血漿製剤



複数の血液凝固因子の欠乏による出血ないし出血傾向のある場合に使われます。

- 保存温度 -20℃以下
- 有効期間 採血後1年間

全血製剤



大量出血などすべての成分が不足する状態で、赤血球と血漿の同時補給を要する場合に使われます。

- 保存温度 2～6℃
- 有効期間 採血後21日間

血漿分画製剤

血液凝固因子製剤



血液が固まりにくい血友病などに使われます。

アルブミン製剤



やけどやショックなどの場合に使われます。

免疫グロブリン製剤



ある種の神経疾患、川崎病、重症感染症などに使われます。

その他

献血血液は、輸血に使用される輸血用血液製剤と、血漿分画製剤という医薬品を作るために使われています。





献血前の注意

- 問診事項には正確にお答えください。
- 副作用予防のため、献血前に水分を補給してください。
- 献血のパンフレットや同意説明書をしっかり読んでください。



01 | 受付



受付をします。
本人確認のため、ご自身を証明できるものを提示します。

学生証も有効なの？

「氏名」「生年月日」「顔写真」が揃っていれば有効です。
3つ揃わない場合は他の証明書も必要です。



02 | 健康診断



健康状態に関する質問に正確に回答します。



回答に基づき、問診と血圧・体温・体重測定などを行います。

ご飯は食べたかな？
昨日はちゃんと寝れたかな？
熱はないかな？



【教員の皆様へ】
17～19ページをご参照ください



少量の採血※を行い、血液の濃さなど、献血ができるかどうかを事前に調べます。

※全国的に全血献血は指先穿刺、成分献血は静脈穿刺にて少量の採血を行う。

血液型の判定もするよ



03 | 採血



診断結果に問題が無ければ、採血します。

04 | 休憩

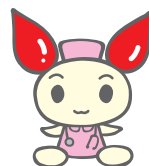


十分に水分を取り、**少なくとも10分以上**休憩します。

05 | 献血終了

献血後の
注意

- 当日は激しい運動を避けてください
- エレベーターや階段などは注意してください
- 重い荷物を採血側の腕で持たないでください
- 採血直後のトイレは座ってください
- ▶ 気分が悪くなったらすぐにしゃがむか、横になってください!!



献血ができる場所



■ 献血はどこでできるの？

日本赤十字社の献血ルームや献血バスで献血できます。
詳しくは、日本赤十字社のホームページをご覧ください。

日本赤十字社 献血

検索



全国の献血バス・
献血ルーム一覧はこちら

献血バス



献血ルーム



■ 献血ルームってどんなところ？



大阪平野などの絶景が眺望できる上質な空間
「阪急グランドビル24献血ルーム」(大阪)



ブックカフェをイメージした
「横浜Leaf 献血ルーム」(神奈川)



大きな窓から東京八重洲の景色が一望できる
「東京八重洲献血ルーム」(東京)
※完全予約制・血漿成分献血専用



水辺の公園にいるような空間
「献血ルーム ピース」(広島)



献血後に十分な休憩と水分補給をするため、
ジュースやお茶を提供しています。
漫画や雑誌、お菓子などを置いているルームもあります。

ラブラッドについて

ラブラッドは日本赤十字社と献血者をつなぐ、Web会員サービスです。
Webサイト・スマートフォンアプリ、どちらからでも献血の予約、事前の問診回答などが可能です。

■ 会員になると



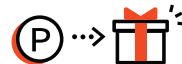
- ▶ Webやアプリでの予約が可能になります
- ▶ ポイントを貯めて記念品と交換ができます
- ▶ 血液の検査結果等の献血記録がWebやアプリにて確認できます
- ▶ メールやLINE、プッシュ通知で次回献血可能日、イベント、キャンペーン情報、「献血のお願い」などが届きます

■ プレ会員とは

献血可能年齢未満や献血未経験の方用の会員サービスで、
献血可能年齢までのカウントダウンが表示！

プレ会員の方は…

ラブラッドアプリ内の献血に関するクイズに答えると、ポイントを貯めることができ、
ポイントは献血をしたときに記念品と交換できます。



その他…

- ▶ 献血可能年齢に到達すると初回献血の予約ができます
- ▶ イベントやボランティア情報を検索し、応募いただくことができます

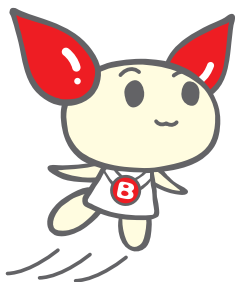
※プレ会員の登録にはラブラッドアプリのダウンロードが必要です。ブラウザ版ラブラッドでは対応しておりません。

ラブラッドは、
こちらのページからご登録ください。



ラブラッド

Q1 献血をして病気になったり、うつることはないの？



A

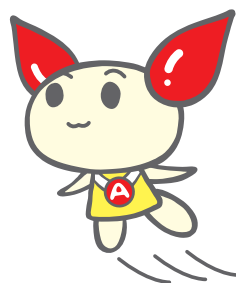
心配ありません。献血をして病気になることはありません。

献血をするときに使われる針や血液バッグなどは、献血者一人ひとり新しいものを使用しています。

Q2 採血する時間はどれくらいなの？

A

採血時間は人によりますが、全血献血(200mL・400mL)で**10分～15分**くらい、成分献血は採血量によりますが、**40分～90分**くらいです。



Q3 献血をすると、自分の体のことが分かるって本当？

A

献血にご協力いただいた方々への感謝の気持ちとして、**血液の検査結果をお知らせしています。**

ぜひ、健康管理に役立ててください。

なお、HIVの検査結果は通知されません。

HIV検査は保健所で無料・匿名で受けられます。

全国HIV/エイズ・性感染症 検査・相談窓口情報サイトはこちらです。



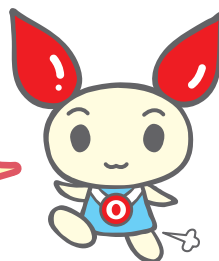
全国HIV/エイズ・性感染症 検査・相談窓口情報サイト
HIV検査相談マップ



HIV検査相談マップ



**感染症検査目的の
献血は絶対にダメ！**



Q4 献血できない場合もあるの？

※令和7年10月時点

A

血液には病原体が含まれていることがあります。
患者さんの安全を守るため、以下に当てはまる方は献血できません。

歯科治療

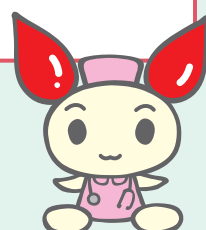
- 3日以内に出血を伴う治療を受けた人

海外渡航

- 4週間以内に海外から帰国(入国)した人
- 特定の時期に一定期間イギリスなどへの海外滞在歴がある人

薬を飲んでいるとだめなの？

病気や薬の種類によって、献血できない場合がありますので相談してね。



ピアス

- 唇や口の中、鼻など粘膜を貫通してピアスをしている人
- 1カ月以内に医療機関等で穴を開けた人
- 6カ月以内に安全ピンや針を友達と共有して穴を開けた人

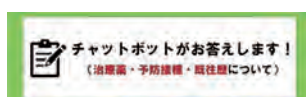


予防接種

- 接種後24時間: インフルエンザ、HPV(子宮頸がん)、A型肝炎
- 接種後2週間: B型肝炎
- 接種後4週間: 経鼻インフルエンザワクチン
- 新型コロナウイルスワクチンは以下のとおり
 - 接種後24時間 ノババックス社製
 - 接種後48時間 ファイザー社製、モデルナ社製、第一三共社製、MeijiSeikaファルマ社製
 - 接種後6週間 アストラゼネカ社製、J&J(ヤンセンファーマ)社製




※上記の他にも献血できない場合があります。詳しくは日本赤十字社HPをご覧ください。
最終的な献血可否の判定は、当日の献血会場の健診医師が総合的に判定します。
治療薬や予防接種、既往歴の献血基準を調べることができるチャットボットを設置しています。
献血をご検討いただく際の目安としてご活用下さい。



日本赤十字社HP





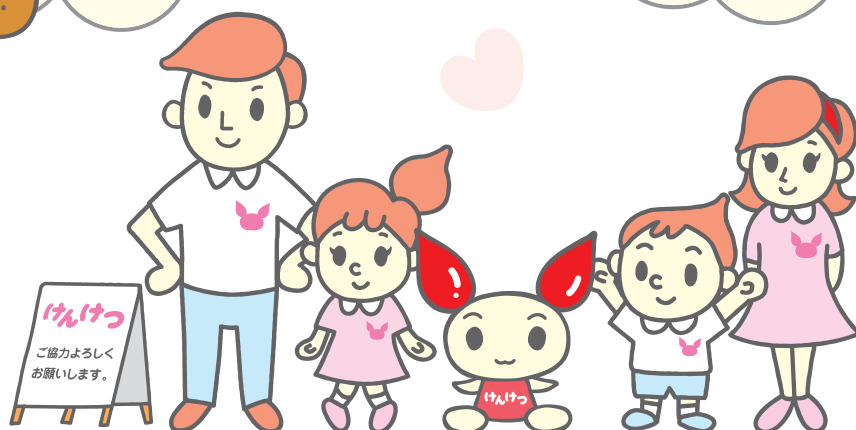
はじめての献血でしたが、幅広い年代の方がいてとても明るい雰囲気に驚きました。

採血後は、飲み物を飲んだり、お菓子を食べてりして過ごしました。漫画も置いてあったので楽しく休憩できました！

思っていたより痛みも無くて、待ち時間も快適に過ごせました。

献血常連の友だちと初の献血。誰かの力になれた実感がわきました。

初めての献血でしたが丁寧に対応して頂き、嬉しかったです！



輸血をしてもらう

小学校3年生の時に体調不良の日が続き、病院に行き検査をすると「急性骨髄性白血病」とわかり入院をしました。

抗がん剤治療と骨髄移植をするために1年3か月入院をしました。治療中、数えきれないぐらいの輸血をしました。輸血しないで、抗がん剤治療だけしていても、私は、今ここにすることができません。



北東 紗輝さん

献血呼びかけボランティアをはじめて

私は、輸血をしたので、献血はすることができませんが、「何か手伝えることはないかな?」と探しているときに、「献血呼びかけボランティア」というのを見つけました。献血ルームに行くと、献血に来てくれている人が大勢いて、私と同級生ぐらいの高校生も大勢いたので、びっくりしたと同時に、「献血ルームに来てくれる人がいてるから、輸血ができたんだな。」と感謝しかありません。これからも、多くの人に献血を知ってもらい、献血したり、他の人に広めていってほしいです。



恒川 礼子さん

40歳で診断された難病

仕事や子育てに走りまわっていた40歳の時に自己免疫の病気「重症筋無力症」と診断されました。全身の筋肉に力が入りにくく、すぐに疲れてしまう。その時服用していた薬の副作用に悩まされ、気持ちと身体をだましながら毎日を過ごしていました。



救ってくれたのは、献血から生まれた薬

そんな時新たな治療法として免疫グロブリン療法を取り入れることになりました。この治療の薬はみなさんが献血してくださった血液からつくられます。免疫系の病気の仲間もこの薬のおかげで命をつなぎ、学校生活や社会生活を送ることができるようになっています。献血をしてくださったみなさんに心より感謝申し上げます。

「ありがとうの手紙」(動画)

急性リンパ性白血病を発症し、輸血を経験された友寄 蓮さんの体験談を紹介しています。

詳しくはこちら



日本赤十字社
YouTubeチャンネル



学生献血推進ボランティアとは？



全国学生献血推進実行委員会
委員長 曾根 至道さん

献血の大切さや現状を広めている学生ボランティアです！
主に若年層（10代～30代）の方に向けて、献血にご協力
いただけるよう活動しています。
大学・短期大学・専門学校などに通っている全国の学生で
構成されており、約5000人が所属しています！

学生献血推進ボランティアってどんなことするの？

若い人たちが献血に協力してもらえるように、献血ルーム、
献血バスでの呼びかけや、ポスターなどを制作しています。
ほかにも献血セミナーを実施していたり、私たちのような
若い年代だからこそ斬新なアイデアを出し合ったりと、
日々献血者を増やす取り組みをしています。

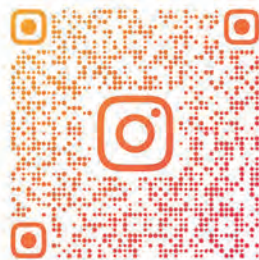


やりがいを感じる時は？

たくさんの方が献血にご協力しているのを自分の目で見る事が出来た時です。私が
呼びかけをするときはかなり長い時間やっているときが多いのですが、終わったあとに
「今日は●●人来てくれました！」と報告をいただける時にやりがいを感じます。また、
ポスターなどを制作する機会もあり、仲間とともに良いものが出来上がる時にもやり
がいを感じます。

メッセージをお願いします！！

私自身が高校生の時は献血に対して「痛そう」「なんとなく入りにくい」など、献血の事を
知らないがゆえにマイナスなイメージばかりでした。ですが、献血を推進する立場になり、
たくさんの事を学んでいく中で献血がどれほどの人の役に立っているのか、どのくらいの
命を救っているのかということを知ることが出来たおかげで、今では進んで献血をして
います。献血は一番身近で素敵なボランティアなので、見かけた際はぜひ献血をしてみ
てはいかがでしょうか。



全国学生献血推進実行委員会
Instagram

どんな活動をしているの？
もっと知りたい方はこちら！



キャンペーン一覧

1月 2月 「はたちの献血」キャンペーン

毎年1月～2月に「はたちの献血」キャンペーンを実施しています。
キャンペーン期間中は、ポスターやインターネットなどによる広報のほか、全国各地でさまざまなイベントを開催します。



7月 愛の血液助け合い運動

毎年7月に「愛の血液助け合い運動」月間を実施しています。メインの行事として、献血運動推進全国大会を開催します。

季節の
キャンペーンも！



献血普及啓発

○Webサイト 「全国のありがとうの声」

献血によって命を支えられた全国の方々からの、
ありがとうのメッセージをご紹介します。

詳しくは
こちら



日本赤十字社HP



○動画 「献血推進プロモーション チャンネル」

献血の説明や輸血を受けた方の声、CM動画など
を紹介しています。

詳しくは
こちら



日本赤十字社
YouTubeチャンネル



○動画 「僕たちは巡っていく」

世代を超えて、献血という優しいバトンが巡り、
運命の人とも巡りあうストーリーの動画です。

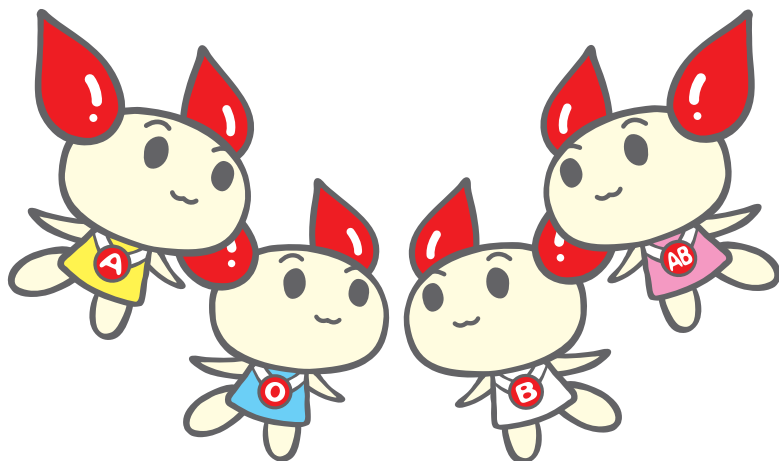
詳しくは
こちら



厚生労働省
YouTubeチャンネル



参 考 資 料 編



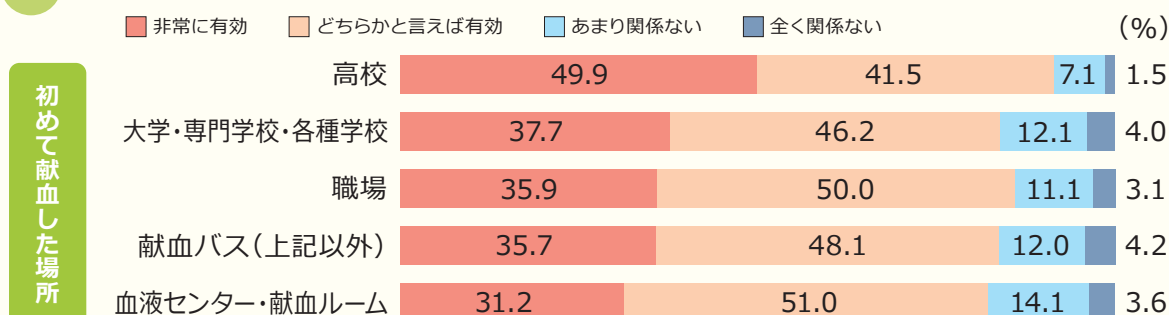
学校における献血推進活動が重要です

① これからの日本社会の人口動態を考慮すると、献血可能人口は減少すると推定されます。血液製剤は医療に無くてはならないものですので、血液が足りなくなって患者さんに届けられない、という事態はどうしても避けなければなりません。

そのため、**これからの社会を支える若年層の献血者をいかに増やすか**が喫緊の課題となっています。

② 厚生労働省が献血経験者を対象に実施した調査では、多くの人(特に、初回献血の場所が高校だった人)が「**高校での献血がその後の献血への動機付けに有効**」と考えていることがわかりました(下図参照)。

Q. 高校での集団献血が、その後の献血への動機付けとなるか



H23厚生労働省作成

少しでも献血に触れ合える機会を生徒に提供してください

若いうちから献血に触れあえる機会を持つていただくため、献血受入を行っている日本赤十字社では、**献血のきっかけづくりや、将来にわたって献血にご協力いただくための取組として、中学校・高等学校等に出向いての「献血セミナー」(スライド・映像やパンフレットを用いた学習講座)を積極的に実施**しております。

献血については、平成21年7月に改訂された「高等学校学習指導要領解説／保健体育編」に「献血の制度があることについても適宜触れる」ことが追記され、令和7年6月に閣議決定された「骨太方針2025」において、小中学生から献血に対する理解を深めることが重要とされました。

学校現場において、広報資材の配布や、出前講座、学校献血等献血に触れ合う機会の受入れについて積極的に取り組んでいただけるよう、ご協力をお願いします。

※学校献血や献血セミナーについてはお近くの血液センターにお問い合わせください。



献血基準^{※1}

献血の種類 項目		全血献血		成分献血	
		200mL献血	400mL献血	血漿成分献血	血小板成分献血
1回献血量		200mL	400mL	600mL以下(循環血液量の12%以内)	
年 齢		16歳～69歳※2	男性17歳～69歳※2 女性18歳～69歳	18歳～69歳※2	男性18歳～69歳※2 女性18歳～54歳
体 重		男性45kg以上 女性40kg以上	男女とも50kg以上	男性45kg以上 女性40kg以上	
最高血圧		90mmHg以上 180mmHg未満			
最低血圧		50mmHg以上 110mmHg未満			
脈 拍		40回/分以上 100回/分以下			
体 温		37.5℃未満			
血色素量 (ヘモグロビン濃度)		男性 12.5g/dL以上 女性 12.0g/dL以上	男性 13.0g/dL以上 女性 12.5g/dL以上	12.0g/dL以上 (赤血球指数が標準域にある 女性は11.5g/dL以上)	12.0g/dL以上
血小板数		―――	―――	―――	15万/μL以上 60万/μL以下
年間献血回数※3※4		男性6回以内 女性4回以内	男性3回以内 女性2回以内	血小板成分献血1回を2回分に換算して 血漿成分献血と合計で24回以内	
年間総献血量※3※4		200mL献血と400mL献血を合わせて 男性1,200mL以内、女性800mL以内		―――	―――
共通事項	次の方からは採血しない ①妊娠していると認められる方、又は過去6ヵ月以内に妊娠していたと認められる方 ②採血により悪化するおそれのある循環器系疾患、血液疾患、その他の疾患にかかっていると認められる方 ③有熱者その他健康状態が不良であると認められる方				

※1 採血基準は、献血にご協力いただける方の健康を保護するために、国が定めたもので、採血の実施は、医師が問診結果等を踏まえて総合的に判断します。

※2 65歳から69歳までの方は、60歳から64歳までに献血の経験がある方に限られます。

※3 期間の計算は直近の採血を行った日から起算します。

※4 1年は52週として換算します。

献血の間隔^{※5}

今回の献血 前回の献血	全血献血		成分献血	
	200mL献血	400mL献血	血漿成分献血	血小板成分献血
200mL献血	男女とも4週間後の同じ曜日から			
400mL献血	男性は12週間後、 女性は16週間後の同じ曜日から		男女とも8週間後の同じ曜日から	
血漿成分献血	男女とも2週間後の同じ曜日から※6			
血小板成分献血				

※5 期間の計算は直近の採血を行った日から起算します。

※6 血漿を含まない場合には、1週間後に血小板成分献血が可能になります。ただし、4週間に4回実施した場合には次回までに4週間以上あけてください。

献血される方と患者さんの安全を守るため、受付の際に「お願い！」パンフレットが渡されます。重要な内容ですので、生徒に指導する際の参考にしてください。

献血前にお読みください

●献血前に

- ◆お名前、生年月日、住所、電話番号等は正確にお答えください。
- ◆初めて献血をされる方は、ご本人の確認のため、運転免許証などの提示をお願いします。
- ◆問診項目には正確にお答えください。事実と異なる回答をされた場合、輸血を受けた患者さんに深刻な状況をもたらす場合があります。
- ◆献血に伴う副作用予防のため、献血前に水分(スポーツドリンク等)を補給してください。
- ◆献血後に高所作業や激しいスポーツ、自動車の運転等をされる方は献血前にお知らせください。特に乗り物の運転をされる方は、献血後に十分な休憩(30分以上)をおとりください。

●献血時は

- ◆体重、血圧、脈拍、体温や血色素量(ヘモグロビン濃度)を事前に測定します。
- ◆200mL・400mL献血では10分から15分位、成分献血では体重等に応じて採血する量(上限 600mLまで)が異なりますので、40分から90分位の採血時間がかかります。
- ◆採血針や採血バッグ等は、お一人ずつ新しいものを使用しています。
- ◆採血装置の不具合等により、採血が中断されたり、いただいた血液が血液製剤に使用できなくなることがあります。

●献血に伴う注意と副作用

- ◆血液には鉄分が含まれているため、献血により身体から鉄分が失われます。日頃から鉄分を補う食事を心がけましょう。
- ◆次のような症状が起きた場合は、すぐに職員にお知らせください。
 - ・針を刺したときに、強い痛みやしびれがある場合。
 - ・気分不良やめまい等の症状がある場合。※立ち上がりず、そのままの姿勢でお知らせください。
 - ・口唇や手指のしびれ感などの症状がある場合。※成分献血では血液が固まらないように抗凝固剤(クエン酸ナトリウム)を使用しているため、このような症状を起こすことがあります。
 - ・皮下出血がある場合。
- ◆採血針を刺したところに、跡が残ることがあります。

●献血していただいた血液は

- ◆検査を実施し血液製剤の基準に適した場合、輸血用血液製剤及び血漿分画製剤の原料に使用されます。
※輸血用血液製剤とは:「赤血球製剤」「血漿製剤」「血小板製剤」「全血製剤」があります。
- ※血漿分画製剤とは:血漿中に含まれる血液凝固因子、免疫グロブリン、アルブミンなどのたんぱく質を抽出・精製したものです。献血血液の成分である血漿を原料として、国内製薬企業において製造されています。
- ◆血漿分画製剤については、国内の患者さんに使用される他、国内自給と安定供給に支障が生じない範囲で、国が定める需給計画に基づき海外の患者さんのために輸出される場合があります。
- ◆血液の一部は少なくとも11年間冷凍保存し、輸血による副作用や感染症などの調査のために使用します。

●献血の依頼について

- ◆受付時に確認させていただく「献血の依頼についての応諾意思」に同意いただいた方には、はがき、電話、メール、LINE等により、患者さんに必要な血液製剤を供給するために、献血のご協力をお願いする場合があります。

献血を希望する際は、質問事項に正しく回答する必要があります。

問診は、感染直後から抗原または抗体が検出できるまでの感染の事実を検知できない期間(ウィンドウ期)などにおいて実施可能な、検査の限界を補う唯一の方法です。

献血者は、献血の方法や危険性などを理解することはもちろん、問診の意義や目的を正しく理解し、患者に安全な血液製剤を提供するために「責任ある献血」をすることが必要です。

質問事項

1	今日の体調は良好ですか。		今までに次の病気にかかったことがありますか。
2	3日以内に出血を伴う歯科治療(抜歯、歯石除去等)を受けましたか。	13	C型肝炎、梅毒、マラリア、バベシア症、シャーガス病、リーシュマニア症、アフリカトリパノソーマ症
3	3日以内に薬を飲んだり、注射を受けましたか。		
4	次の育毛薬／前立腺肥大症治療薬を使用したことがありますか。 プロペシア・プロスカールなど(1か月以内)、アボダート・アボルブなど(6か月以内)	14	海外から帰国(入国)して4週間以内ですか。
		15	1年以内に外国(ヨーロッパ・米国・カナダ以外)に滞在しましたか。
5	次の薬を使用することがありますか。 乾せん治療薬(チカソン)、ヒト由来プラセンタ注射薬(ラエンネック・メルスモン)	16	4年以内に外国(ヨーロッパ・米国・カナダ以外)に1年以上滞在しましたか。
6	24時間以内にインフルエンザの予防接種を受けましたか。	17	英国に1980年(昭和55年)～1996年(平成8年)の間に通算1か月以上滞在しましたか。
7	1年以内にインフルエンザ以外の予防接種を受けましたか。	18	ヨーロッパ(英国も含む)・サウジアラビアに1980年以降、通算6か月以上滞在しましたか。
8	次の病気や症状がありましたか。 3週間以内－はしか、風疹、おたふくかぜ、帯状疱疹、水ぼうそう 1か月以内－発熱を伴う下痢 6か月以内－伝染性単核球症、リンゴ病(伝染性紅斑)	19	エイズ感染が不安で、エイズ検査を受けるための献血ですか。
9	1か月以内に肝炎やリンゴ病(伝染性紅斑)になった人が家族や職場・学校等にいますか。	20	6か月以内に次のいずれかに該当することがありましたか。 ①不特定の異性または新たな異性との性的接触があった。 ②男性どうしの性的接触があった。 ③麻薬、覚せい剤を使用した。 ④エイズ検査(HIV検査)の結果が陽性だった(6か月以前も含む)。 ⑤上記①～④に該当する人と性的接触をもった。
10	6か月以内に次のいずれかに該当することがありましたか。 ①ピアス、またはいれずみ(刺青)をした。 ②使用後の注射針を誤って自分に刺した。 ③肝炎ウイルスの持続感染者(キャリア)と性的接触等親密な接触があった。	21	今までに輸血(自己血を除く)や臓器の移植を受けたことがありますか。
11	1年以内に次の病気等にかかったか、あるいは現在治療中ですか。 外傷、手術、肝臓病、腎臓病、糖尿病、結核、感染症、ぜんそく、アレルギー疾患、その他	22	今までに次のいずれかに該当することがありますか。 ①クロイツフェルト・ヤコブ病(CJD)または類縁疾患と診断された。 ②血縁者にCJDまたは類縁疾患と診断された人がいる。 ③ヒト由来成長ホルモンの注射を受けた。 ④角膜移植を受けた。 ⑤硬膜移植を伴う脳神経外科手術を受けた。
12	今までに次の病気にかかったか、あるいは現在治療中ですか。 B型肝炎、がん(悪性腫瘍)、血液疾患、心臓病、脳卒中、てんかん	23	現在妊娠中または授乳中ですか。 6か月以内に出産、流産をしましたか。

1

今日の体調は良好ですか。

体温37.5℃以上の発熱のある人は、細菌やウイルスが血液に出てくる(菌血症又はウイルス血症)疑いがあるため、**献血してはいけません**。(体温37.5℃以上の発熱を認めない場合でも、献血者の体調を考慮し献血をご遠慮いただく場合があります。)

また、献血者の緊張度や体調によっては、採血によりVVR(血管迷走神経反応)などの副作用が起こる可能性があるため、十分に体調を整えて献血することが重要です。

2

3日以内に出血を伴う歯科治療(抜歯、歯石除去等)を受けましたか。

3日以内に出血を伴う歯科治療を受けた人は、口腔内常在菌が血液中に出てくる(菌血症)可能性があるため、**献血してはいけません**。

3

3日以内に薬を飲んだり、注射を受けましたか。

抗菌薬や抗ウイルス薬、解熱鎮痛剤を服用された人、又は点滴や注射をされた人は、**献血してはいけません**。感染症を起こしていたり、薬物が血小板の機能に悪影響を及ぼしたりする可能性があるからです。

その他の薬物を服用している場合でも、病気や薬の影響により献血できない場合があります。問診時に医師にご相談ください。

4

次の育毛薬／前立腺肥大症治療薬を使用したこと
がありますか。

プロペシア・プロスカールなど(1ヵ月以内)、アボダート・アボルブなど(6ヵ月以内)

アンチアンドロゲン系ホルモン剤であるこれらの薬剤は、胎児に対する催奇形性が指摘されているため、プロペシア・プロスカールなどは**服用後1ヵ月間**、アボダート・アボルブなどは**服用後6ヵ月間献血してはいけません**。

プロスカール及びアボダートは日本では医薬品として未承認ですが、育毛薬として個人輸入し、服用(経口)している人がいます。また、アボダートと同様の成分(dutasteride)を含むデュタスや、プロペシアと同様の成分(finasteride)を含むフィンペシア、フィンカーなどのジェネリック医薬品も同様の扱いとなります。

5

次の薬を使用したことがありますか。

乾せん治療薬(チガソン)

ヒト由来プラセンタ注射薬(ラエンネック・メルスモン)

乾せん及び角化症治療薬の治療に用いられるチガソンは、米国(FDA)の基準にある採血禁忌薬剤であるTegison(合成レチノイド)に該当し、催奇形性が指摘されているため、服用歴がある場合や、服用中の人は**献血してはいけません**。

また、ヒト由来プラセンタ注射薬の原料であるヒト胎盤からの異常プリオン感染による変異型クロイツフェルト・ヤコブ病(vCJD)の危険性が理論上完全に否定できないため、過去にラエンネック、メルスモンの注射をした人にも献血をご遠慮いただいています。

なお、ヒト由来プラセンタ注射薬の使用によるvCJDの感染事例は報告されていません。

6

24時間以内にインフルエンザの予防接種を受けましたか。

インフルエンザワクチンは、不活化ワクチンであり、血中に病原体が存在する危険性はありますが、献血者の体調を考慮して**接種後24時間を経過するまで献血してはいけません**。

経鼻インフルエンザワクチンは、弱毒生ワクチンであり、一過性感染の可能性を考慮して接種後4週間を経過するまでは献血してはいけません。

7

1年以内にインフルエンザ以外の予防接種を受けましたか。

インフルエンザワクチン以外の不活化ワクチン(例えば、A型肝炎、狂犬病、肺炎球菌)や組換えタンパク質ワクチン(ヒトパピローマ、帯状疱疹、新型コロナ(ノババックス社製)等(B型肝炎を除く))、トキシイド(破傷風等)を接種した人は、**接種後24時間を経過するまで献血してはいけません**。

RNAワクチン(新型コロナ:ファイザー社製、モデルナ社製、第一三共社製、MeijiSeikaファルマ社製)を接種した人は、**接種後48時間を経過するまで献血してはいけません**。

B型肝炎ワクチン接種後は、HBs抗原検査が陽性と判定される可能性が高いため、**2週間献血してはいけません**。抗HBsヒト免疫グロブリンを単独またはB型肝炎ワクチンと併用した人は**6ヵ月間献血してはいけません**。

また、弱毒生ワクチン(例えば、BCG、おたふくかぜ、水痘・帯状疱疹、風疹、麻疹等)を接種した人は、一過性感染の可能性を考慮して**接種後4週間献血してはいけません**。

さらに、ウイルスベクターワクチン(新型コロナ:アストラゼネカ社製、J&J(ヤンセンファーマ)社製)を接種した人は、**接種後6週間を経過するまで献血してはいけません**。

その他、破傷風、蛇毒、ジフテリア等の抗血清投与を受けた人は**3ヵ月間**、動物に噛まれた後に狂犬病ワクチンを接種した人は**接種後1年間献血してはいけません**。

8

次の病気や症状がありましたか。

3週間以内

ーはしか、風疹、おたふくかぜ、
帯状ほうしん、水ぼうそう

1ヵ月以内

ー発熱を伴う下痢

6ヵ月以内

ー伝染性単核球症、リンゴ病(伝染性紅斑)

麻疹ウイルス、風疹ウイルス、ムンプスウイルスの感染を予防するため、はしか、風疹、おたふくかぜ、帯状疱疹、水ぼうそうの治癒後3週間以内の人は、**献血してはいけません**。

輸血を介した細菌等の感染を防ぐため、発熱や食中毒様の激しい下痢症状等があった人は、サルモネラや病原性大腸菌等による食中毒が疑われることから症状消失後1ヵ月間、エルシニア感染症と診断された場合は症状消失後**6ヵ月間献血してはいけません**。

エプスタイン・バーウイルス(EBV)の感染を防ぐため、伝染性単核球症の症状消失後**6ヵ月間献血してはいけません**。このウイルスに日本人は、乳幼児期までに感染し、生後2~7歳で

はほぼ80%が、成人ではほぼ100%が抗体陽性を示します。輸血による感染は一般に症状が現れず、我が国では輸血による感染が特定された報告はありません。外国では伝染性単核球症や肝炎の発症が数例報告されています。

また、ヒトパルボウイルスB19の感染を防ぐため、リンゴ病（伝染性紅斑）の治癒後**6カ月間献血してはいけません**。日本では成人の約50%がこのウイルスに対する抗体が陽性であり、輸血による感染の危険性は非常に低くなっています。また、仮に症状が出現しても急性一過性に経過し、重症化はしません。ただし、溶血性貧血の患者や免疫抑制状態にある患者が感染した場合には、重症の貧血（赤芽球ろう）を起こす危険性があり、また、子宮内で胎児が感染した場合、流産、胎児水腫を起こすことがあります。

9

1カ月以内に肝炎やリンゴ病（伝染性紅斑）になった人が家族や職場・学校等にいますか。

A型肝炎ウイルス（HAV）、E型肝炎ウイルス（HEV）の感染を防ぐため、1カ月以内に家族や職場等にA型肝炎、E型肝炎を発症した人がいる場合は、**1カ月間献血してはいけません**。通常、経口摂取により感染しますが、潜伏期から急性期にかけてウイルス血症が起こり、血液による感染が起こり得ます。

同様に、ヒトパルボウイルスB19の感染を防ぐため、1カ月以内に家族や職場等にリンゴ病（伝染性紅斑）を発症した人がいる場合は、**献血してはいけません**。

10

6カ月以内に次のいずれかに該当することがありましたか。

- ① ピアス、またはいれずみ（刺青）をした。
- ② 使用後の注射針を誤って自分に刺した。
- ③ 肝炎ウイルスの持続感染者（キャリア）と性的接触等親密な接触があった。

B型肝炎ウイルス（HBV）やC型肝炎ウイルス（HCV）の感染を可能な限り防止するため、他人の血液や体液に暴露された可能性のある人、6カ月以内にウイルスキャリアとの親密な接触をした人は**献血してはいけません**。肝炎ウイルスの感染経路は、他人と共有した器具によるピアスの穴あけ・刺青、キャリアとの性的接触等といわれています。ただし、日常生活で感染することはほとんどありません。

また、C型肝炎ウイルスについては、性的接触で感染することはほとんどありません。

11

1年以内に次の病気等にかかったか、あるいは現在治療中ですか。

外傷、手術、肝臓病、腎臓病、糖尿病、結核、性感染症、ぜんそく、アレルギー疾患、その他

採血により献血者の健康に悪影響を与えるおそれがある疾患については、献血者自身と受血者双方の安全性を確保するため、**献血をご遠慮いただく場合があります**。また、開胸・開腹・開頭を要するような大手術を受けた人及び開放骨折をした人は、**6カ月間献血をご遠慮いただいています**。肝臓病や腎臓病、外傷がある場合は治癒するまで、ぜんそく、アレルギー疾患等については病態が安定するまでは献血してはいけません。

12

今までに次の病気にかかったか、あるいは現在治療中ですか。

B型肝炎、がん（悪性腫瘍）、血液疾患、心臓病、脳卒中、てんかん

B型肝炎ウイルスキャリアと過去に診断された人は献血してはいけません。また、急性B型肝炎は、ウイルスに感染したことに気づかないまま治ることが一般的に多く、治癒後は日常生活に問題となることはありません。しかし近年、血液中にHBs抗原が検出されない場合でも、HBc抗体陽性の人では肝臓の中にごく微量のB型肝炎ウイルスが存在し続けており、まれに血液中にもごく微量のB型肝炎ウイルスが検出される場合があることが分かってきました。このため、患者への万が一の感染を防ぐためにHBc抗体陽性の人**は献血してはいけません**。

血液疾患、心臓病、脳卒中（脳梗塞・脳出血・くも膜下出血）、てんかん等については、採血により献血者の健康に悪影響を与えるおそれがあるため**献血をご遠慮いただいています**。

がんについては治療により根治し再発なく5年経過するまで献血してはいけません。なお、造血器腫瘍については、経過良好でも献血してはいけません。

13

今までに次の病気にかかったことがありますか。

C型肝炎、梅毒、マラリア、バベシア症、シャーガス病、リーシュマニア症、アフリカトリパノソーマ症

C型肝炎は慢性化しやすく、肝炎が治癒しても血中にウイルスが存在していることがあるので、**C型肝炎の既往歴のある人及びC型肝炎ウイルスキャリアと言われたことのある人は献血してはいけません**。

梅毒は、血小板製剤や新鮮血の使用で感染するおそれがあるので、**既往歴のある人は献血してはいけません。**

マラリアの既往歴のある人は、マラリアの発熱発作が長期間みられなくても、肝臓等にマラリア原虫が残存している場合があります(特に三日熱マラリア原虫、卵形マラリア原虫)、輸血による感染源になりうるため、**献血してはいけません。**

その他、**シャーガス病やバベシア症等の既往歴のある人も献血してはいけません。**

14

海外から帰国(入国)して4週間以内ですか。

海外との交流が盛んになるにつれて、海外で何らかの感染性疾患に罹患したまま帰国(入国)する人が多くなっています。これらの疾患は、マラリアのように血液を介して感染するものが多く、その一つ一つを何らかの検査でスクリーニングすることは困難です。ウエストナイル熱をはじめとする輸入感染症対策のため、大半の輸入感染症の潜伏期間内にある帰国後4週間は**献血してはいけません。**

15

1年以内に外国(ヨーロッパ・米国・カナダ以外)に滞在しましたか。

16

4年以内に外国(ヨーロッパ・米国・カナダ以外)に1年以上滞在しましたか。

マラリアによる感染を防ぐため、WHOの指定しているマラリア流行地域に旅行した人については**1年間、長期滞在者については3年間献血してはいけません。**アメリカではおよそ100万単位当たり0.25の確率で輸血による感染が起こっており、我が国では、その頻度はさらに低いものと考えられています。今後海外旅行等の増加により、危険性が高まることが懸念されています。

その他、中南米に居住歴のある方については、中南米に流行地をもつサシガメ(昆虫)が媒介するシャーガス病のリスク(病原体保有者)がある場合がありますので注意が必要です。

17

英国に1980年(昭和55年)～1996年(平成8年)の間に通算1ヵ月以上滞在しましたか。

18

ヨーロッパ(英国も含む)・サウジアラビアに1980年以降、通算6ヵ月以上滞在しましたか。

変異型クロイツフェルト・ヤコブ病(vCJD)については、輸血で感染する可能性が示唆されています。したがって、昭和55年以降に、表中のA及びBに掲げる「採血制限対象国」において、「通算滞在歴」の欄に掲げる期間滞在した人は、**献血してはいけません。**なお、平成30年12月時点で、英国において、輸血により異常プリオンタンパクに感染した疑いのある事例が4例、血液凝固因子製剤により感染した疑いのある事例が1例報告されています。

		採血制限対象国	通算滞在歴	滞在時期
A	①	英国	31日以上 (1996年まで) 6ヵ月以上 (1997年から)	1980年 ～2004年
	②	アイルランド、イタリア、オランダ、スペイン、ドイツ、フランス、ベルギー、ポルトガル、サウジアラビア	6ヵ月以上	
	③	スイス	6ヵ月以上	1980年～
B	①	オーストリア、ギリシャ、スウェーデン、デンマーク、フィンランド、ルクセンブルグ	5年以上	1980年 ～2004年
	②	アイスランド、アルバニア、アンドラ、クロアチア、サンマリノ、スロバキア、スロベニア、セルビア、コソボ、モンテネグロ、チェコ、バチカン、ハンガリー、ブルガリア、ポーランド、ボスニア・ヘルツェゴビナ、北マケドニア共和国、マルタ、モナコ、ノルウェー、リヒテンシュタイン、ルーマニア	5年以上	1980年～

※Bに掲げる国の滞在歴を計算する際には、Aに掲げる国の滞在歴を加算するものとする。

19

エイズ感染が不安で、エイズ検査を受けるための献血ですか。

献血するということは、その血液が患者に輸血されることであり、献血には可能な限り患者の安全を守るという責任が伴います。エイズに限らず、感染症の検査を目的とする献血は、輸血を受ける患者に対して感染の危険性を高めるものですから、**絶対に行ってはいけません。**エイズ検査は保健所等にて無料・匿名で実施されています。

20

6か月以内に次のいずれかに該当することがありましたか。

- ① 不特定の異性または新たな異性との性的接触があった。
- ② 男性どうしの性的接触があった。
- ③ 麻薬、覚せい剤を使用した。
- ④ エイズ検査(HIV検査)の結果が陽性だった(6か月以前も含む)。
- ⑤ 上記①～④に該当する人と性的接触をもった。

エイズの原因となるウイルスであるHIVに感染している危険性のある人は、献血してはいけません。

令和6年の新規HIV感染者の報告件数は664件であり、新規エイズ患者の報告件数は336件でした。累積報告件数は、令和5年末時点では、HIV感染者が25,196件、エイズ患者は11,185件になりました。令和6年の新規HIV感染者の主な感染経路は、異性間の性的接触106件(16%)、同性間の性的接触419件(63%)です。

エイズについては、昭和56年に米国で世界初の症例報告があり、昭和58年にはHIVが発見され、昭和60年に日本人初のエイズ患者が認定されました。我が国では約1,400名の血友病患者が、血友病治療のために使用していた非加熱血液凝固因子製剤によりHIVに感染し、国及び製薬企業5社を被告とする損害賠償請求訴訟が提起され、平成8年3月に和解が成立しました。また、和解に則り、非加熱製剤によりHIVに感染された方に対する救済事業等を実施しています。

加熱処理が導入されてからは、血液凝固因子製剤などの血漿分画製剤による感染は報告されていません。また、献血血液については、昭和61年からHIVの抗体検査が始まりました。平成11年には核酸増幅検査(NAT)が導入され、輸血による感染の危険性は大幅に減少しています。しかしながら、平成15年に、NAT導入後の輸血後HIV感染が1例、20プールNAT導入後も平成25年に1例報告されており、更なる安全対策として平成26年に個別検体による個別NATを導入しました。検出感度の優れている個別NATといえども、感染ごく初期のものは検出することができないことから、6か月以内に上記5項目(④は6か月以前も含む)のいずれかに該当する人は、献血してはいけません。

21

今までに輸血(自己血を除く)や臓器の移植を受けたことがありますか。

輸血歴、臓器移植歴のある方は、現在の検査方法で検出できないウイルスや未知のウイルスの感染の可能性が輸血歴等のない人よりも高いと考えられます。輸血を受ける人への感染を防ぐ意味から、**献血をご遠慮いただいています**。輸血の安全性は、相当程度改善しましたが、未知のウイルスを完全に排除することはできません。このような技術の限界を踏まえ、念のため、献血をご遠慮いただいているものです。

22

今までに次のいずれかに該当することがありますか。

- ① クロイツフェルト・ヤコブ病(CJD)または類縁疾患と診断された。
- ② 血縁者にCJDまたは類縁疾患と診断された人がいる。
- ③ ヒト由来成長ホルモンの注射を受けた。
- ④ 角膜移植を受けた。
- ⑤ 硬膜移植を伴う脳神経外科手術を受けた。

プリオンの適切な検査法のない現在、問診のみが唯一のスクリーニング法です。**上記のいずれかに該当する人は、献血してはいけません。**

なお、硬膜移植を伴う脳神経外科手術に関しては、医療機器であるヒト乾燥硬膜「ライオデュラ」を介してCJDに感染し、被害を被ったことに対し、国、輸入販売業者及びドイツの製造業者を被告とする損害賠償訴訟が提起され、平成14年3月に和解が成立しました。

23

現在妊娠中または授乳中ですか。
6か月以内に産、流産をしましたか。

母体の健康を保護するため、妊娠中、出産・流産後6か月以内に、授乳中(分娩後1年まで)の女性には**献血をご遠慮いただいています**。

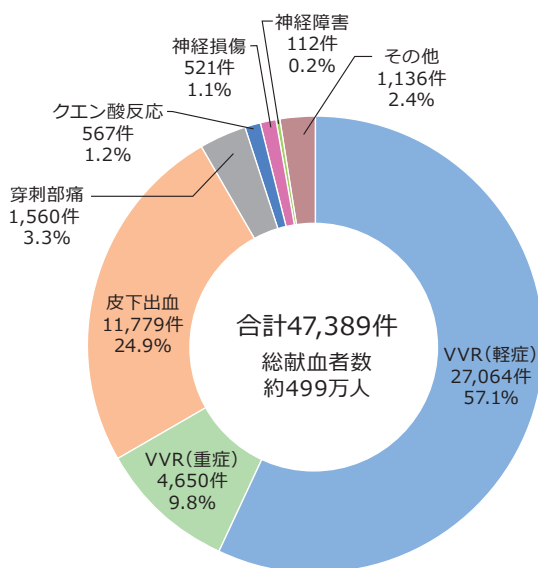


献血者の健康状態等を十分確認した上で採血を行います。時には気分不良、めまい、神経損傷などの健康被害が起こることがあります。(大半は、採血後に十分な休憩や水分補給を行うことで防げます)

献血者の健康被害の症状とその発生状況は右図のとおりです。

発生頻度が高いのは、血管迷走神経反応(VVR)と呼ばれるもので、一時的な気分不良や顔面蒼白などの症状が代表的です。

日本赤十字社では、これらの健康被害を防ぐために、採血後の安静や水分補給について注意を促し、万が一、腕の痛みなど健康状態に心配が生じた時は、血液センターに連絡するよう呼びかけています。



令和6年度の献血者の健康被害発生状況

(日本赤十字社調べ)

献血者健康被害救済制度

健康被害が医療機関の受診を要するような状態になった場合、医療費や医療手当などが支給される制度です。

令和6年度は、新たに451人について、この制度が適用されました。

(令和7年10月時点)

給付項目	給付額等
医療費	病院又は診療所を受診した場合、その医療に要した費用を補填するもの。
医療手当	病院又は診療所を受診した場合に要する医療費以外の費用を補填するもの。 その額は、1日につき 4,990円、月ごとの上限を39,900円とする。
障害給付	後遺障害に対して、その障害の程度に応じた一時金を給付するもの。その額は、給付基礎額9,700円に障害等級1～14級に応じた倍数を乗じて得た額(485,000円～12,998,000円)とする。
死亡給付	採血によって生じた健康被害が原因で死亡した献血者等の一定の範囲の遺族に対して一時金を給付するもの。その額は、47,952,000円とする。
葬祭料	葬祭を行うことに伴う出費に着目して、葬祭を行う者に対して給付するもの。 その額は、219,000円とする。

売血から献血、国内自給をめざして

日本の血液事業のあゆみ〈ミニ年表〉

～1945 年（昭和 20 年）	枕元輸血（院内輸血）普及 注射器で採取した血液を、感染症検査等を行わずそのまま輸血する「枕元輸血」が普及。
1950 年（昭和 25 年）	我が国初の民間商業血液銀行設立 民間商業血液銀行はその後各地に設立され、売血（自らの血液を有償で採血させること）によって輸血用血液を供給。
1952 年（昭和 27 年）	日本赤十字社血液銀行開設
1956 年（昭和 31 年）	「採血及び供血あっせん業取締法」（採供法）施行 血液の適正利用と採血によって生じる保健衛生上の危害を防止し、供血者の保護を図ることを目的として制定。
1962 年（昭和 37 年）	「黄色い血」追放運動が始まる 供血者の頻回採血による貧血や、血液の品質の低下が社会問題に。 ※売血常習者の血液は、度重なる売血行為により血球部分が少なく黄色い血漿部分が目立ち、「黄色い血」と呼ばれた。
1964 年（昭和 39 年）	ライシャワー事件 ライシャワー駐日大使が暴漢に襲われ輸血を受け、輸血後肝炎に感染した事件。輸血された血液が売血由来の血液であったことから、献血推進の機運が高まる。 政府は輸血用血液を献血により確保する体制を確立するよう閣議決定。
1969 年（昭和 44 年）	売血による輸血用保存血液の製造を中止（預血制度に切り替え）
1974 年（昭和 49 年）	輸血用血液のすべてを献血で確保する体制の確立（預血制度を廃止） 一方血漿分画製剤は売血由来、輸入血漿由来の製品が多数を占める。
1986 年（昭和 61 年）	400mL献血、成分献血の導入
1990 年（平成 2 年）	有料採血の完全廃止
1991 年（平成 3 年）	採血及び供血あっせん業取締法施行規則の一部改正 血液比重、血圧などの採血基準を緩和し、献血者の対象を拡大。
1999 年（平成 11 年）	採血及び供血あっせん業取締法施行規則の一部改正 献血年齢の引き上げを行い、69歳*1まで献血が可能になる。（血小板成分献血については現行のまま54歳までとする）
2003 年（平成 15 年）	「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律」（血液法）が施行 採供法を改称。法の目的を安全性の向上や安定供給の確保等に拡大。
2006 年（平成 18 年）	採血に係る健康被害の補償の実施 日本赤十字社において「献血者健康被害救済制度」の運用がスタート。
2011 年（平成 23 年）	安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律施行規則の一部改正 400mL採血の献血年齢を男性に限り18歳から17歳に引き下げる。また血小板成分採血の献血年齢を男性に限り54歳から69歳*1まで引き上げる。
2019 年（令和元年）	安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律の一部改正 採血等の制限の緩和や採血業の許可基準の明確化、採血事業者のガバナンスを強化するための措置が講じられる。

*1 65歳から69歳までの方は、60歳から64歳までの間に献血の経験がある方に限られる。

北海道

北海道赤十字血液センター	〒063-0802 札幌市西区二十四軒2条1-1-20	011(613)6121
北海道ブロック血液センター	〒063-0802 札幌市西区二十四軒2条1-1-20	011(613)6121

東北

青森県赤十字血液センター	〒030-0966 青森市花園2-19-11	017(741)1511
岩手県赤十字血液センター	〒020-0831 盛岡市三本柳6-1-6	019(637)7200
宮城県赤十字血液センター	〒981-3206 仙台市泉区明通2-6-1	022(290)2501
秋田県赤十字血液センター	〒010-0941 秋田市川尻町大川反233-186	018(865)5541
山形県赤十字血液センター	〒990-0023 山形市落合町95-1	023(622)5301
福島県赤十字血液センター	〒960-1198 福島市永井川字北原田17	024(544)2550
東北ブロック血液センター	〒981-3206 仙台市泉区明通2-6-1	022(354)7070

関東甲信越

茨城県赤十字血液センター	〒311-3117 東茨城郡茨城町桜の郷3114-8	029(246)5566
栃木県赤十字血液センター	〒321-0192 宇都宮市今宮4-6-33	028(659)0111
群馬県赤十字血液センター	〒379-2154 前橋市天川大島町2-31-13	027(224)2118
埼玉県赤十字血液センター	〒337-0003 さいたま市見沼区深作955-1	048(684)1511
千葉県赤十字血液センター	〒274-0053 船橋市豊富町690	047(457)0711
東京都赤十字血液センター	〒162-8639 新宿区若松町12-2	03(5272)3511
神奈川県赤十字血液センター	〒222-0032 横浜市長北区大豆戸町680-7	045(834)4611
新潟県赤十字血液センター	〒950-0954 新潟市中央区美咲町1-6-15	025(384)0920
山梨県赤十字血液センター	〒400-0062 甲府市池田1-6-1	055(251)5891
長野県赤十字血液センター	〒381-2214 長野市稲里町田牧1288-1	026(214)8070
関東甲信越ブロック血液センター	〒135-8639 江東区辰巳2-1-67	03(5534)7666

東海北陸

富山県赤十字血液センター	〒930-0821 富山市飯野26-1	076(451)5555
石川県赤十字血液センター	〒920-0345 金沢市藤江北4-445	076(254)6300
福井県赤十字血液センター	〒918-8011 福井市月見3-3-23	0776(36)0221
岐阜県赤十字血液センター	〒500-8269 岐阜市西部中島2-10	058(272)6911
静岡県赤十字血液センター	〒420-0804 静岡市葵区竜南1-26-19	054(247)7141
愛知県赤十字血液センター	〒489-8555 瀬戸市南山口町539-3	0561(84)1131
三重県赤十字血液センター	〒514-0131 津市あかつ台4丁目8-5	059(273)6701
東海北陸ブロック血液センター	〒489-8585 瀬戸市南山口町539-3	0561(89)7800

近畿

滋賀県赤十字血液センター	〒525-8505 草津市笠山7-1-45	077(564)6311
京都府赤十字血液センター	〒612-8451 京都市伏見区中島北ノ口町26	075(603)8800
大阪府赤十字血液センター	〒536-8505 大阪市城東区森之宮2-4-43	06(6962)7001
兵庫県赤十字血液センター	〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-4-5	078(222)5011
奈良県赤十字血液センター	〒639-1123 大和郡山市筒井町600-1	0743(56)5916
和歌山県赤十字血液センター	〒649-6322 和歌山市和佐閑戸118-5	073(499)7724
近畿ブロック血液センター	〒567-0085 茨木市彩都あさぎ7-5-17	072(643)1007

中四国

鳥取県赤十字血液センター	〒680-0901 鳥取市江津370-1	0857(24)8101
島根県赤十字血液センター	〒690-0882 松江市大輪町420-21	0852(23)9467
岡山県赤十字血液センター	〒700-0012 岡山市北区いずみ町3-36	086(255)1211
広島県赤十字血液センター	〒730-0052 広島市中区千田町2-5-5	082(241)1246
山口県赤十字血液センター	〒753-8534 山口市野田172-5	083(922)6866
徳島県赤十字血液センター	〒770-0044 徳島市庄町3-12-1	088(631)3200
香川県赤十字血液センター	〒761-8031 高松市郷東町字新開587-1	087(881)1500
愛媛県赤十字血液センター	〒791-8036 松山市高岡町80-1	089(973)0700
高知県赤十字血液センター	〒783-0043 南国市岡豊町小蓮448	088(866)6660
中四国ブロック血液センター	〒730-0052 広島市中区千田町2-5-5	082(241)1311

九州

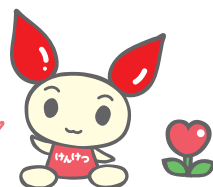
福岡県赤十字血液センター	〒818-8588 筑紫野市上古賀1-2-1	092(921)1400
佐賀県赤十字血液センター	〒849-0925 佐賀市八丁畷町10-20	0952(32)1011
長崎県赤十字血液センター	〒852-8145 長崎市昭和3-256-11	095(843)3331
熊本県赤十字血液センター	〒861-8039 熊本市東区長嶺南2-1-1	096(384)6000
大分県赤十字血液センター	〒870-0889 大分市大字荏隈717-5	097(547)1151
宮崎県赤十字血液センター	〒880-8518 宮崎市大字恒久885-1	0985(50)1800
鹿児島県赤十字血液センター	〒890-0064 鹿児島市鴨池新町1-5	099(257)3141
沖縄県赤十字血液センター	〒902-0076 那覇市与儀1-4-1	098(833)4747
九州ブロック血液センター	〒839-0801 久留米市宮ノ陣3-4-12	0942(31)8900

学校献血や献血セミナーについてはお近くの
血液センターにお問い合わせください

けんけつちゃんに
ついてはこちら→



厚生労働省HP



厚生労働省

お問い合わせ先

厚生労働省 医薬局血液対策課

東京都千代田区霞が関1-2-2

〒100-8916 TEL03-5253-1111(代表)

2025年12月印刷